

V AO入試 I (大学入試センター試験を課さないAO入試)

学部別募集要項細目

【人文社会科学部】

1 募集人員

	学科・コース名	募集人員
人文社会科学科	グローバル・スタディーズコース	4人

2 趣旨

グローバル・スタディーズコースでは、外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究を行うことで、地域の中でグローバル化を推進できる人材を養成します。グローバル・スタディーズコースの求める学生像は、以下のとおりです。

- ① 国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人
- ② 留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人
- ③ 基礎的な英語力を身につけており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身につける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人

グローバル・スタディーズコースでは、上の①～③に該当する学生を募集するために、AO入試を実施します。この入試の目的は、従来の入学試験では必ずしも適切に判定できないような資質や能力等を評価することによって、グローバル社会で活躍可能な人材を広く求めることにあります。

このAO入試の第1次選抜は書類選抜、第2次選抜は小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）となります。

第1次選抜では、調査書、志望理由書、自己PR書に基づき、グローバル・スタディーズコースでの学修に対する入学志願者の適性や意欲、さらに本人の目的意識などについて、多面的に審査します。

第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）を実施します。まず、事前に英文記事の読解を義務付けたうえで、試験当日には、上記の英文に関する小論文（具体的な課題は当日に与えます。）を課し、さらに面接を行い、総合的に合否を判定します。面接では口頭試問に加えて、(1) 国際社会やグローバル化や異文化理解についての関心、本学部グローバル・スタディーズコースで学ぼうとする意欲、(2) 留学等の海外体験への関心、(3) 外国語教育への関心、の3つについて問い、併せて、卒業後の進路計画に関する質疑応答を行います。

3 出願資格・出願要件

次の(1)から(3)のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 次のいずれかに該当する者
 - 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
 - 2 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
 - 3 高等専門学校の第3学年を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
 - 4 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
 - 5 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (2) 本学部グローバル・スタディーズコースで学ぶための適性と強い意欲を持つ者
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入試センター試験は課しません。

※他学部のAO入試 I 及び本学のAO入試 II には同時に出願することができません。

4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間
令和元年8月19日（月）から8月23日（金）まで
※持参・郵送ともに8月23日（金）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(注) 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送(書留速達)の場合は、郵送期限を考慮して余裕をもって送付してください。

(2) 出願書類の提出先

小白川キャンパス事務部入試課人文社会科学部担当(7ページ参照)に提出してください。

5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、入学願書等の出願書類を一括し、本要項に添付の「出願書類提出用封筒」を使用して、郵送(書留速達)又は持参により提出してください。

なお、出願書類(調査書を除きます。)の用紙は、本要項に添付してあります。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書 写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙を用い、所定欄に必要事項を漏れなく記入してください。 ○ 「志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和2年3月31日(火)まで確実に郵便物を受け取ることのできる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を記入してください。 ○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。
調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身学校長が作成し、厳封してください。
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、グローバル・スタディーズコースを「志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」、「卒業後どのような職業に就きたいか(現時点)」に分けて、各事項について400字以内で記入してください。
自己PR書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、PR(ピーアール)したい内容を800字以内で記入してください。PRの内容に応じて、資格の証明書や賞状等の写真や他の参考資料を添付して提出することができます。
山形大学入学試験検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検定料 17,000 円 1 払込期間：令和元年8月13日(火)から令和元年8月23日(金)まで 2 払込方法 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本要項に添付の所定の「払込書【AO入試Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM(現金自動預払機)は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。 (2) 各票の※印の欄に、志願者(本人)の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。 (3) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。 3 <u>ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</u> 4 (1) 第1次選抜の不合格者には、検定料17,000円のうち13,000円を返還します。返還手続の詳細については、第1次選抜結果とともに通知します。 (2) 既に払い込んだ検定料は、上記(1)に該当する他は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
	① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。） ② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 5 返還についてのお問合せは、山形大学小白川キャンパス事務部入試課人文社会科学部担当をお願いします。 なお、申出期間は令和2年3月31日（火）までとします。
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号等を記入し、提出してください。
返信用封筒 (受験票送付用)	○ 本要項に添付の所定の封筒（受験票送付用）に郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手（速達）をはって提出してください。

(注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍（日本国籍を有しない者は住民票）のとおりにしてください。

6 選抜方法等

(1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">調査書、志望理由書及び自己PR書</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	調査書、志望理由書及び自己PR書	100点
調査書、志望理由書及び自己PR書			
100点			
採点・評価基準	志望理由書では、本学での修学計画と卒業後の進路の希望、そして本学部グローバル・スタディーズコースを志望する理由について評価します。		
合 否 判 定 基 準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和元年9月19日(木)
時 間	調整の上、決定
科 目 等	小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）
選 抜 方 法	小論文（2時間）の後、面接（30分程度）を実施します。 小論文については、第2次選抜の当日に具体的な課題が与えられます。その課題に関して、事前に指定した英文記事の内容に基づき、日本語で小論文を作成します。小論文試験の際には、第1次選抜の合格通知の際に郵送した英文記事の写しを配付します（先に郵送した英文記事本体を試験時間中に参照することはできません）。また、面接（口頭試問を含みます。）では出願書類を参考にしつつ、質疑応答を行います。

	配点は次のとおりです。		
	<table border="1"> <tr> <td>小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）</td> </tr> <tr> <td>100点</td> </tr> </table>	小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）	100点
小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）			
100点			
採点・評価基準	<p>小論文では、受験者が書いた内容について、（１）課題に対する理解の的確さ、（２）論旨の説得力、（３）日本語表現、（４）独創性といった観点から、評価を行います。また、上記とあわせて、事前に渡した英文記事に関する読解の正確さに関しても審査し、受験者が入学後の学修のために必要な基礎的英語力を有しているかを判定します。</p> <p>面接（口頭試問を含みます。）では、受験者の基礎学力、志望動機、勉学や海外体験への意欲を総合的に評価します。</p>		
合否判定基準	<p>1 小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。</p> <p>2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。</p>		

- ◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。
第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

7 合格者の発表

- (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和元年9月3日（火）11時	○ 本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和元年10月3日（木）11時	

(注) 1 電話等による合否の問合せには、一切応じません。

- 2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

- (2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続期間
令和元年12月2日(月)～12月6日(金)(必着)
受付時間は、9時から16時30分までとします。
なお、合格者が令和元年12月6日(金)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利が消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学料
入学手続の際に納付していただきます。
○入学料：282,000円
- (3) 提出書類
入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。
詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和元年12月6日(金)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和2年2月19日(水)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

【地域教育文化学部】

1 募集人員

学科・コース名		実技検査区分名	募集人員（計30人）
地域教育文化学科	文化創生コース	美術分野	3人程度
		音楽分野	13人程度
		スポーツ分野	14人程度

2 趣旨

文化創生コースは、「安全かつ安心な生活」と「文化的に豊かな人生」を支え、地域の人々とともに、多様な地域課題の解決に取り組む実践的な人材の育成を目的として「地域課題解決のスペシャリスト」を養成します。

文化創生コースには、次の3つのプログラムを用意します。

- ①地域の健康を「こころ」と「からだ」の側面から科学的に分析し、支援できる人材を養成する「心身健康支援プログラム」
- ②地域住民が文化的に豊かな生活を構築するために、芸術的なスキルの実践を通じて貢献できる人材を養成する「芸術文化創生プログラム」
- ③大学院地域教育文化研究科文化創造専攻に進学することを前提に、6年一貫教育を行い、「音楽芸術」「造形芸術」「スポーツ科学」分野において、スキルの更なる向上及び地域創生に貢献するための専門知識を養う「チャレンジプログラム」

上記のようなコースの特色に鑑み、地域教育文化学部ではAO入試を導入しています。これは、従来の入学試験では推し量れないような資質や能力などを評価し、美術、音楽、スポーツの各分野で将来性豊かな人材の発掘を目指したものです。

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では実技検査（美術、音楽、スポーツから選択します。）及び面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では、地域教育文化学部で学びたい意欲と、そのために必要な実技の能力を、これまでの活動実績や成績などをもとに調査書、志望理由書及び自己PR書から判断します。

第2次選抜では、志願者本人に時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、文化創生コースの教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、学習意欲等について評価します。また、実技検査（美術、音楽、スポーツから選択します。）を実施することにより、文化創生に関わる適性や実技の優れた能力等を測り、面接と合わせて多角的な観点から志願者の資質・能力と将来性を評価することとします。

3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入試センター試験は課しません。

※他学部のAO入試Ⅰ及び本学のAO入試Ⅱには同時に出願することができません。

4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間

令和元年8月19日（月）から8月23日（金）まで

※持参・郵送ともに8月23日（金）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送期限を考慮して余裕をもって送付してください。

(2) 出願書類の提出先

小白川キャンパス事務部入試課地域教育文化学部担当（7ページ参照）に提出してください。

5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、入学願書等の出願書類を一括し、本要項に添付の「出願書類提出用封筒」を使用して、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、出願書類（調査書を除きます。）の用紙は、本要項に添付してあります。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
入学願書 写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙を用い、所定欄に必要事項をもれなく記入してください。 ○ 「志願者の現住所」欄には、願書提出の日から令和2年3月31日（火）まで確実に郵便物を受け取ることのできる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を記入してください。 ○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。 	
調査書	○ 出身学校長が作成し、 厳封 してください。	
志望理由書	○ 本要項に添付の所定の用紙により、「文化創生コースを志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」に分けて、各事項について400字以内で記入してください。	
自己PR書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、特に下記の内容についてPR（ピーアール）したい内容を800字以内で記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①学校内の特別活動や部活動等で顕著な実績を収めた。 ②学校外の活動（音楽・美術の場合はコンクール、演奏活動などを含む。）で表彰を受けた。 なお、<u>評価の対象となる活動は高等学校在学時（中等教育学校においては後期課程在学時）のみとします。</u>（小・中学校時等の活動は評価の対象となりません。） ○ 自己PR書に記入した①及び②について、<u>表彰等の実績がある場合</u>、これらを証明する以下の書類等の写しを添付してください。 なお、<u>書式はA4判片面（拡大・縮小可）に統一してください。</u> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰状（大会が地区予選・本選等に分かれている場合は、最終的な成績がわかるもののみ） ・コンクール、発表会等に参加したことがわかるプログラム、演目等（氏名等の記載がある該当ページのみ） ※表彰状がある場合、同大会もしくは同コンクール等のプログラムを提出する必要はありません。 	
添付資料	以下の各分野から、 いずれか一つ を選択し、指定する資料を提出してください。	
美術分野	A4判ポートフォリオ	○ 美術分野における過去の作品写真等をA4判ファイルにまとめたもの 別途梱包の上、山形大学小白川キャンパス事務部入試課地域教育文化学部担当まで、持参又は書留速達で提出してください。 (出願書類受付最終日まで)に必着 なお、梱包物に「ポートフォリオ在中」と朱書きしてください。
	※DVD-R	○ ※動画など映像作品を提出される場合のみ、作品を5分以内にまとめたもの(DVD-R)をA4判ポートフォリオと合わせて添付してください。
	学校長等の証明書 (様式任意)	○ A4判ポートフォリオ(又は映像作品のDVD-R)を、志願者本人が作成していることを証明する学校長等の証明書(様式任意)を添付してください。

音楽分野	【音楽分野】で受験する場合は、【声楽・ピアノ・管弦打楽器】か【作曲】のいずれか一つを選択してください。	
	CD-R又はDVD-R <small>(声楽・ピアノ・管弦打楽器で受験するもの)</small>	○ 5分以上10分以内の演奏(複数曲可)を録音(CD-R)又は録画(DVD-R)したもの
	作曲作品 <small>(作曲で受験するもの)</small>	○ 出願前2年以内に志願者本人が作曲した作品3点の手書きによる楽譜の写し
	学校長等の証明書 <small>(様式任意)</small>	○ CD-R又はDVD-Rが志願者本人の演奏であること、又は作曲作品が志願者本人の作曲であることを証明する学校長等の証明書(学校長による証明が困難である場合、個人レッスンの先生等、その実績を証明できるものの証明書であれば可)
スポーツ分野	スポーツ活動に関する調査書	○ 本要項に添付の所定の用紙(主な競技成績等を記入したもの)により、出身学校長等が作成したものを提出してください。
	競技成績等を証明するもの	○ 「スポーツ活動に関する調査書」に記入した競技成績等を証明できる表彰状等の写しを添付してください。 なお、 <u>書式はA4判片面(拡大・縮小可)に統一してください。</u> ただし、自己PR書に添付の証明書類と重複する場合は、 <u>同一の書類を改めて添付する必要はありません。</u>
山形大学入学試験検定料納付証明書	<p>○ 検定料 17,000円</p> <p>1 払込期間：令和元年8月13日(火)から令和元年8月23日(金)まで</p> <p>2 払込方法</p> <p>(1) 本要項に添付の所定の「払込書【AO入試I・II・III用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM(現金自動預払機)は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。</p> <p>(2) 各票の※印の欄に、志願者(本人)の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。</p> <p>(3) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。</p> <p>3 <u>ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</u></p> <p>4 (1) 第1次選抜の不合格者には、検定料17,000円のうち13,000円を返還します。返還手続の詳細については、第1次選抜結果とともに通知します。 (2) 既に払い込んだ検定料は、上記(1)に該当する他は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 ① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。) ② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>5 返還についてのお問合せは、山形大学小白川キャンパス事務部入試課地域教育文化学部担当をお願いします。 なお、申出期間は令和2年3月31日(火)までとします。</p>	
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号等を記入し、提出してください。	
返信用封筒 (受験票送付用)	○ 本要項に添付の所定の封筒(受験票送付用)に郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手(速達)をはって提出してください。	

(注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**

とがあります。

- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍（日本国籍を有しない者は住民票）のとおりにしてください。

6 選抜方法等

(1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。
	調査書、志望理由書及び自己PR書
	100 点
採点・評価基準	志望理由書では、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR（ピーアール）内容をもとに、本学で学ぶ意欲とそれに必要な実技の能力等について評価します。
合 否 判 定 基 準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

なお、出願時に選択した分野ごとに「選抜方法」及び「採点・評価基準」が異なります。

選 抜 期 日	令和元年9月19日（木）～9月20日（金）までの期間の本学部が指定する1日～2日	
時 間	調整の上、決定	
科 目 等	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）	
選抜方法		
美術 分野	実技検査	○ 30分以内で素描の実技を行います。 そのために必要な画材や道具は各自で準備してください。
	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに、造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関する質問及び自身の造形実践や経験の内容、入学後の取り組み等を質問します。 なお、ポートフォリオに含まれる作品の実物（2点以内）を準備してください。 作品は必ず受験者本人が一人で持ち運びできる大きさのみに限ります。 映像作品等の場合、上映に必要な機材（プロジェクター、スクリーンは除く。）は各自で準備してください。

音楽分野	実技検査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 声楽, ピアノ, 管弦打楽器で受験する者は, 第1次選抜で提出したCD-R又はDVD-Rの楽曲を5分以上10分以内で演奏(複数曲可)してください。 ○ 声楽で受験する者で, ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。管弦打楽器で受験する者は無伴奏で試験を行います。演奏は途中で止めることがあります。 ○ 作曲で受験する者は, 機能音声に基づく転調を含む和声のソプラノ・バス課題を課します。(所要時間120分) ○ 受験者全員にコールユーブンゲンの試験を課します(第1巻, 原書No. 48~No. 87から1曲を当日指定します。)
	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料をもとに, 音楽芸術に対する関心や楽典, 実技検査の演奏曲に関する質問及び自身の音楽実践や経験の内容, 入学後の取り組み等を質問します。
スポーツ分野	実技検査	○ 運動能力や技術(内容は第1次選抜合格時に示します。)について検査します。
	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料をもとに, スポーツ, 運動, 身体等の基礎的な知識に関する質問及び自身の運動実践や経験の内容, 入学後の取り組み等を質問します。
配点 (分野共通)	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)	100点
採点・評価基準		
美術分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)は, 美術に関わる基礎的能力(発想力, 構成力, 造形表現力)と適性, 学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
音楽分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)は, 音楽に関わる基礎的能力(演奏能力, 楽典等の知識, ソルフェージュ能力)と適性, 学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
スポーツ分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)は, スポーツに関わる能力(スポーツ, 運動, 身体等の基礎知識, 運動能力)と適性, 学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
合否判定基準	<ol style="list-style-type: none"> 1 実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は, この同点者は全員合格とします。 	

◎ 地域教育文化学部試験場(山形市小白川町一丁目4-12)において実施します。
第2次選抜に向けた詳細については, 第1次選抜合格者に別途通知します。

7 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和元年9月4日(水)11時	○ 本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終(第2次選抜)合格者発表 令和元年10月2日(水)11時	

(注) 1 電話等による可否の問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和元年12月16日(月)～12月19日(木)(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和元年12月19日(木)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利が消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学料

入学手続の際に納付していただきます。

○入学料：282,000円

(3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和元年12月19日(木)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和2年2月19日(水)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

【工学部フレックスコース】

1 募集人員

学科名	募集人員
システム創成工学科	5人

2 趣旨

システム創成工学科は、「自ら考え、手足を動かし、学ぶ」ことにより、企業内の技術的リーダーや起業家となるような独創的な「人財の育成」を教育目標に据えた新しい発想の学科です。

従来の工学系分野の枠にとらわれることなく、例えば機械工学とバイオ化学というように、複数の分野を学ぶことが可能となっています。そのことにより、学際的視野を持ち、ものづくりの基本を修得し、企業内での技術的貢献のみならず経営にも参画しうる「人財」を養成することを可能としています。

上記のようなコース・学科の教育目標に鑑み、これまででない先進の入学選抜方式として訪問型AO入試を導入することとしました。これは、従来の入学試験では推し量れないような才能や能力などを多面的に評価し、将来性豊かな人材の発掘を目指したものです。

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では志願者の居住地（日本国内ならばどこでも）を本学部面接担当者が訪問して行う面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により判定します。

第2次選抜では志願者本人に時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、システム創成工学科の教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、勉学意欲、技術者としての適性ならびに社会人基礎力と言われる「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」等、多角的な観点から志願者の能力と将来性を測ることとしています。

3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を令和2年3月修了見込みの者
 - (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
- なお、大学入試センター試験は課しません。

※他学部のAO入試Ⅰ及び本学のAO入試Ⅱには同時に出願することができません。

4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間
令和元年8月6日（火）から8月16日（金）正午まで（土・日曜日、祝日を除きます。）
※持参・郵送ともに8月16日（金）正午まで（必着）
※8月10日（土）から8月15日（木）までは持参による出願はできません。
受付時間は、9時から16時30分まで（8月16日（金）のみ正午まで）とします。
（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送期限を考慮して余裕をもって送付してください。
- (2) 出願書類の提出先
工学部入試担当（7ページ参照）に提出してください。

5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、入学願書等の出願書類を一括し、本要項に添付の「出願書類提出用封筒」を使用して、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、出願書類（調査書を除きます。）の用紙は、本要項に添付してあります。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書 写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙を用い、所定欄に必要事項をもれなく記入してください。 ○ 「志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和2年3月31日（火）まで確実に郵便物を受け取ることのできる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を記入してください。 ○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身学校長が作成し、厳封してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。 ※ 高等学校又は高等専門学校等における学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が4.3以上）に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊤と標示することを希望します。 また、㊤標示を合否判定の資料としても使用します。
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、「システム創成工学科を志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」及び「卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）」に分けて、各事項について<u>400字以内</u>で記入してください。
自己PR書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本要項に添付の所定の用紙により、①特別活動（部活動）等で顕著な成績を収めた、②学校外の活動で表彰を受けた、③通学距離が長いにもかかわらず、3年間休まずに徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PR（ピーアール）したい内容を<u>800字以内</u>で記入してください。 ○ PR（ピーアール）したい内容については、自己PR書の所定欄に、学校長又は学年主任等からの証明を受けてください。 なお、①及び②については、これを証明する表彰状などの写しの提出を求めることがあります。
山形大学入学試験検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検定料 10,000円 1 払込期間：令和元年7月30日（火）から令和元年8月16日（金）正午まで 2 払込方法 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本要項に添付の所定の「払込書【AO入試I用（工学部フレックスコース）】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM（現金自動預払機）は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。 (2) 各票の※印の欄に、志願者（本人）の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。 (3) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。 3 ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「<u>山形大学入学試験検定料納付証明書</u>」を提出してください。 4 (1) 第1次選抜の不合格者には、検定料10,000円のうち7,800円を返還します。返還手続の詳細については、第1次選抜結果とともに通知します。

出願書類	出願書類作成上の注意
	<p>(2) 既に払い込んだ検定料は、前頁(1)に該当する他は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。)</p> <p>② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>5 返還についてのお問合せは、山形大学工学部入試担当にお願いします。 なお、申出期間は令和2年3月31日(火)までとします。</p>
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号等を記入し、提出してください。
返信用封筒 (受験票送付用)	○ 本要項に添付の所定の封筒(受験票送付用)に郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手(速達)をはって提出してください。

(注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍(日本国籍を有しない者は住民票)のとおりにしてください。

6 選抜方法等

(1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。配点は次のとおりです。		
	調査書	志望理由書	自己PR書
	20点	50点	30点
採点・評価基準	志望理由書では、自身の将来像が示され、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR(ピーアール)内容をもとに、主体性や実行力などの前に踏み出す力、あるいは既存の発想にとらわれない創造力や考え抜く力等について評価します。		
合否判定基準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

(2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和元年9月24日(火)～9月27日(金)までの期間の本学部が指定する1日
時 間	調整の上、決定
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における出題範囲は次のとおりとします。 （試験日までには高等学校等で履修した分野から出題します。）
	出題範囲
選 抜 方 法	面接（口頭試問を含みます。）を1時間以上行います。 なお、面接（口頭試問を含みます。）では出願書類を参考にします。 配点は次のとおりです。
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は、基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力などを総合して評価します。
合 否 判 定 基 準	1 面接（口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。

◎ 第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

7 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和元年8月29日(木)11時	○ 本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終(第2次選抜)合格者発表 令和元年10月3日(木)11時	

(注) 1 電話等による可否の問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和元年10月21日(月)～10月25日(金)(必着)(祝日を除きます。)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和元年10月25日(金)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利が消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学金

入学手続の際に納付していただきます。

○入学金：141,000円

(3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和元年10月25日(金)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和2年2月19日(水)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額267,900円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

10 入学前の指導

(1) 入学前教育について

本学部では、合格者に対し、入学後の学習が順調に進むように、学習教材を指定してeラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、費用に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

(2) 令和2年度大学入試センター試験自己採点結果の提出について

令和2年1月に実施される大学入試センター試験の下記指定科目について解答し、自己採点結果を工学部入試担当へ提出してください(大学入試センター試験の問題等は、インターネットや新聞等で入手できます。)

大学入試センター試験の数学及び理科に関する指定科目については、高等学校の学習体系・進度に合わせ、1科目でも構いませんが、高等学校において学習している場合は、それぞれ2科目について自己採点し、その結果を提出してください。

教科	大学入試センター試験の指定科目
数 学	「数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学Aから1」と「数学Ⅱ, 数学Ⅱ・数学Bから1」の計2科目
理 科	物理, 化学, 生物から2科目
外 国 語	英語 (リスニングを含みます。)